

教育センター

センター長 福島 統

教授：福島 統 医学教育学
 教授：尾上 尚志 医学教育学
 教授：中村真理子 医学教育学
 講師：岡崎 史子 医学教育学

教育・研究概要

1999年4月に教学委員長を室長に医学教育研究室が学事部学務課内に設置され、2002年4月には初年次教育の拡充のために、国領校に医学教育研究室国領分室が設置された。2005年10月に教育センターが設置され、その中に医学教育研究室、看護教育研究室、卒後教育支援室、教育開発室が置かれ、2006年4月には教育センター事務室が設置され、教育センターとして本格的な活動が開始された。福島 統が2007年4月に教育センター長に就任し、2010年4月、2013年4月、2016年4月に再任された。教育センターは、2010年4月にC棟7階に移動し、シミュレーション教育施設およびe-Learning施設の管理運営も行っている。2015年8月1日に東京慈恵会医科大学教育センター規定が改定され、教育センター内に医師キャリアサポート部門（部門長：福島 統）、看護キャリアサポート部門（部門長：奈良京子）、シミュレーション教育部門（部門長：尾上尚志）、地域医療支援部門（部門長：松島雅人）、教育IR部門（部門長：中村真理子）、アドミッション部門（部門長：木村直史）が設置された。

1. 学内卒前教育・大学院教育

学内教育活動として、福島教授はコース医学総論Ⅲ～Ⅵのコース責任者、「福祉体験実習」、「重症心身障害児療育体験実習」、「地域子育て体験実習」、「高齢者医療体験実習」、「プライマリケア・学外選択臨床実習Ⅰ～Ⅵ」、「医学研究Ⅰ～Ⅵ」のユニット責任者、中村教授は「医療総論演習」、「医学総論Ⅲ演習」のユニット責任者、尾上教授は「基本的臨床技能実習」、「臨床医学演習」（テュートリアル）のユニット責任者、岡崎講師は「在宅ケア実習」、「病院業務実習」、「医学総論Ⅴ演習」、「家庭医実習」のユニット責任者を務めた。大学院教育として、福島教授は共通カリキュラムの医学教育学を担当した。

2. 看護キャリアサポートセンターは、奈良京子部門長を担当として、1) エデュケーションナース

研修、2) 看護監督者研修、3) 看護管理者研修などの看護学教育プログラムを実施した。

3. 教育IR部門は、中村教授を部門長として、入試データ、学生の卒前業績データ、卒業生アンケートデータなどの解析を行った。

4. シミュレーション教育部門は、尾上教授を部門長として、シミュレーションセンターの備品整備、教育環境整備などを行った。

5. 2013年度文部科学省研究拠点形成費等補助金「先進的医療イノベーション人材養成」事業で「卒前から生涯学習に亘る総合診療能力開発」（事業推進責任者：大野岩男教授）が採択された。本取組の一つとして、2015年度に3年次「高齢者医療体験実習」が新設された。本実習新設にあたって、厚生労働省医政局医事課長と老健局老人保険課介護データ分析室長からの支援を受けた。国が求める医学教育へのニーズをカリキュラムに生かす方策として、行政との協働というカリキュラム開発の方法論を確立した。

6. 医学教育振興財団主催「医学教育指導者フォーラム」と文部科学省主催「医学・歯学教育指導者ワークショップ」を支援した。フォーラムでは、「基礎医学教育のあり方と基礎研究医養成の課題」を主題とし、英国での基礎・臨床統合カリキュラムの考え方やカリキュラム実施方法を、基礎医学研究者養成についてはAcademic Foundation Programmeの詳細について紹介した。文部科学省主催のワークショップでは、2017年3月に改訂された新モデル・コア・カリキュラムについての各大学の取組みの経験共有と、卒前・卒後の連携、国家試験改善、生涯学習を取り上げた。福島教授は、フォーラムとワークショップの企画に参加した。

7. 福島教授は、文部科学省関係では、2017年度「職業実践専門課程における分野横断的な第三者評価に関する調査研究及び仕組みの詳細設計」事業委員、厚生労働省関係では、医道審議会専門委員（保健師助産師看護師分科会員）、理学療法士・作業療法士学校養成施設カリキュラム等改善検討会座長、東京都関係では、東京都地域医療対策協議会委員、東京都地域医療支援センター運営委員会委員を務めた。

8. 日本医学教育評価機構（JACME）の他医学部外部評価の活動で、福島教授は群馬大学医学部、近畿大学医学部、自治医科大学の評価員主査、中村教授は大阪市立大学医学部評価員副査、琉球大学医学部評価員を務めた。

9. 中村教授はCBT モニターとして、帝京大学医学部、岐阜大学医学部、三重大学医学部に派遣された。

10. 学外での医学教育関係講演

- 1) 防衛医科大学校
- 2) 昭和大学
- 3) 金沢医科大学
- 4) 公益社団法人全国柔道整復学校協会
- 5) 岩手医科大学
- 6) 厚生労働大臣指定柔道整復師専科教員講習会
- 7) 千葉大学
- 8) 厚生労働大臣指定理学療法士・作業療法士・言語療法士養成施設等教員講習会
- 9) IMS 医療安全管理者講習会
- 10) 聖マリアンナ医科大学
- 11) 福岡大学
- 12) 兵庫医科大学
- 13) NPO 私立専門学校等評価研究機構
- 14) 滋賀医科大学
- 15) 大東文化大学法科大学院

「点検・評価」

1. 教育センターでは、1) 卒前医学教育支援、2) 卒業生涯学習支援、3) 看護キャリアサポート業務、4) シミュレーション教育施設運営管理、5) e-Learning の設備管理と運営、6) 教育 IR 活動、そして、7) 高大接続に関する入学試験改革を中心に活動を行っている。研究もこの活動に沿った内容で行っている。高等教育の政策の変化に対応する医学教育に対応するため、教育センターの役割が拡大しつつある。教育 IR 部門は特に、今後、教育の質保証の観点からその活動を強化していかなければならない。学修成果のデータ収集や、アルムナイ調査など本学の社会的責任の指標となるデータ収集が求められているが、データ収集能力の強化を図っていかなければならない。

2. 教育センターの活動は学内のものと学外のものに区分される。学内の活動は教学委員会及びその下部組織の委員会の支援活動で、教学委員会の依頼のもので行われている。今年度は臨床実習改善部 PCC-OSCE の準備が主なものであった。一方、学外の活動は広がってきており、文部科学省、厚生労働省、東京都の行政からのものと、全国医学部長病院長会議、医学教育振興財団、日本医学教育評価機構、日本医学教育学会などの学協会のものがある。学外活動は本学が今まで行ってきたカリキュラム改革の実績を評価されたものと理解している。今後も、学内だけでなく、学外の活動にも力を注いで行く必要がある。

働省、東京都の行政からのものと、全国医学部長病院長会議、医学教育振興財団、日本医学教育評価機構、日本医学教育学会などの学協会のものがある。学外活動は本学が今まで行ってきたカリキュラム改革の実績を評価されたものと理解している。今後も、学内だけでなく、学外の活動にも力を注いで行く必要がある。

研究業績

II. 総説

- 1) 福島 統. 論文執筆者へのメッセージ：編集委員会の議論から. 医教育 2018 ; 49(1) : 5-8.

III. 学会発表

- 1) 福島 統. (シンポジウム 3 : 医学教育論文発表への道 : 研究計画から学会誌投稿まで) 編集委員会で学んだこと. 第 49 回日本医学教育学会大会. 札幌, 8 月.
- 2) 福島 統. (牛場賞, 医学教育日野原賞, 懸田賞, 受賞者講演) 日野原賞の受賞に当たって. 第 49 回日本医学教育学会大会. 札幌, 8 月.
- 3) 福島 統. (シンポジウム 16 : 社会医学教育を考える) 臨床実践における行動科学 / 医療社会学. 第 88 回日本衛生学会学術総会. 東京, 3 月.
- 4) 福島 統. (特別講演 1) 医療者養成における解剖学教育とは. 第 123 回日本解剖学会総会・全国学術集会. 武蔵野, 3 月.
- 5) 日本医学教育学会卒前教育委員会 (泉 美貴, 神代 龍吉, 青木 昭子, 阿部幸恵, 小田康友, 小林直人, 鯉淵典之, 辻 美隆, 中島 昭, 中村真理子, 長谷川仁志, 廣井直樹, 三木洋一郎). (ワークショップ 7) 明日からできる, アクティブ・ラーニング~さまざまなアクティブ・ラーニング・モデルを共有する. 第 64 回医学教育セミナーとワークショップ. 東京, 4 月.
- 6) 恒川幸司 (MEDC), 荒井貞夫 (東京医科大), 中村真理子, 岡田聡志 (千葉大). (ワークショップ 8) 教学 IR 実践ブラッシュアップ~より洗練された医学教育 IR に向けて. 第 64 回医学教育セミナーとワークショップ. 東京, 4 月.

V. その他

- 1) 福島 統. 訪問看護ステーションへのメッセージ 第 3 回 : 在宅ケア実習. 訪問看護ステーションニュース 2017 ; 136 : 13.
- 2) 福島 統. 訪問看護ステーションへのメッセージ最終回 : 臨床実習の多様性を目指して. 訪問看護ステーションニュース 2017 ; 137 : 10.
- 3) 福島 統. 畑尾正彦先生追悼文 Advanced OSCE 研究班 (畑尾班). 医教育 2018 ; 49(1) : 89-90.